



博多港・福岡空港の概況

令和7年3月
福岡市港湾空港局

= 目 次 =

第1章 博多港の物流

- 1. 国際海上コンテナ取扱個数（TEU ベース） … P.1
 - （1）国際海上コンテナ取扱個数の推移
 - （2）令和6年の取扱個数減少の主な要因
 - （3）貨物の内訳
 - 【参考：国内主要港との比較（令和5年）】
- 2. 国際海上コンテナ定期航路と寄港地 … P.4
- 3. 海上出入貨物（トンベース） … P.5
 - （1）海上出入貨物量の推移
 - （2）令和6年の貨物量減少の主な要因
 - （3）外国貿易
 - （4）内国貿易

第2章 博多港の人流

- 1. 船舶乗降人員 … P.9
 - （1）船舶乗降人員の推移
- 2. うち外国航路船舶乗降人員 … P.10
 - （1）外国航路船舶乗降人員の推移
- 3. クルーズ船の寄港回数 … P.10
 - （1）クルーズ船の寄港回数の推移

第3章 博多港の入港船舶

- 1. 入港隻数及び総トン数 … P.11
 - （1）入港隻数及び総トン数の推移

第4章 福岡空港の概況

- 1. 乗降客数 … P.13
 - （1）乗降客数の推移
 - 【参考：国内主要空港との比較（令和5年度）】
- 2. 貨物取扱量 … P.14
 - （1）貨物取扱量の推移
 - 【参考：国内主要空港との比較（令和5年度）】
- 3. 発着回数 … P.15
 - （1）発着回数の推移
 - 【参考：国内主要空港との比較（令和5年度）】
- 4. 路線状況 … P.16

※いずれの表・グラフとも端数処理のため合計が合わない場合がある

第1章 博多港の物流

1. 国際海上コンテナ取扱個数（TEU ベース）

【令和6年港湾統計速報値】

取扱個数：約 87 万 7 千 TEU

外貿ダイレクト：約 80 万 7 千 TEU、内貿フィーダー：約 7 万 TEU

（1）国際海上コンテナ取扱個数の推移

令和6年の国際海上コンテナ取扱個数は、輸移出入ともに減少している。

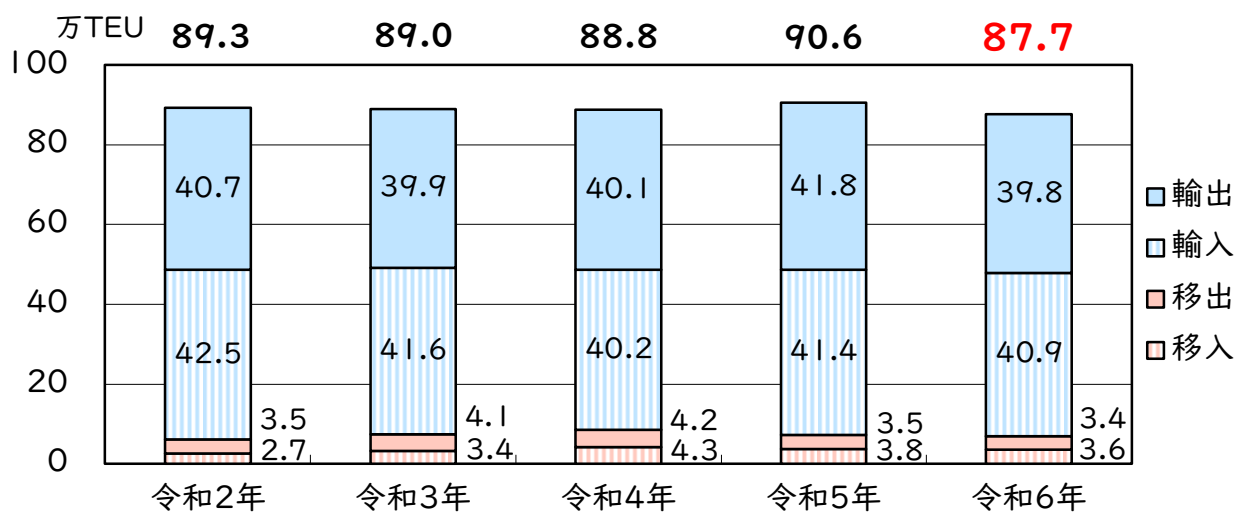
【表 1-1】

(単位:TEU)

区 分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	増減(R6/R5)	
					数量	数量	前年比
博多港全体	893,301	890,026	887,734	905,678	877,382	▲ 28,296	96.9%
輸移出	441,499	439,944	442,862	453,563	432,682	▲ 20,881	95.4%
輸移入	451,802	450,082	444,872	452,115	444,700	▲ 7,415	98.4%
うち外貿ダイレクト	832,133	814,998	802,378	832,091	807,205	▲ 24,886	97.0%
輸出	406,913	398,554	400,796	418,187	398,425	▲ 19,762	95.3%
輸入	425,220	416,444	401,582	413,904	408,780	▲ 5,124	98.8%
うち内貿フィーダー	61,168	75,028	85,356	73,587	70,177	▲ 3,410	95.4%
移出	34,586	41,390	42,066	35,376	34,257	▲ 1,119	96.8%
移入	26,582	33,638	43,290	38,211	35,920	▲ 2,291	94.0%

※TEU…コンテナを数えるときの単位で、20フィートコンテナ換算個数

【グラフ 1-1】



（2）令和6年の取扱個数減少の主な要因

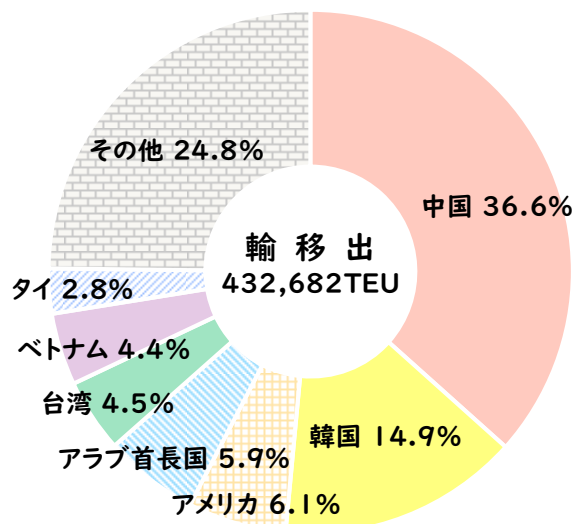
輸移出…ゴム製品（前年比▲6千TEU）や取合せ品（同▲3千TEU）の減少等
輸移入…木製品（同▲2千TEU）やゴム製品（同▲2千TEU）の減少等

(3) 貨物の内訳

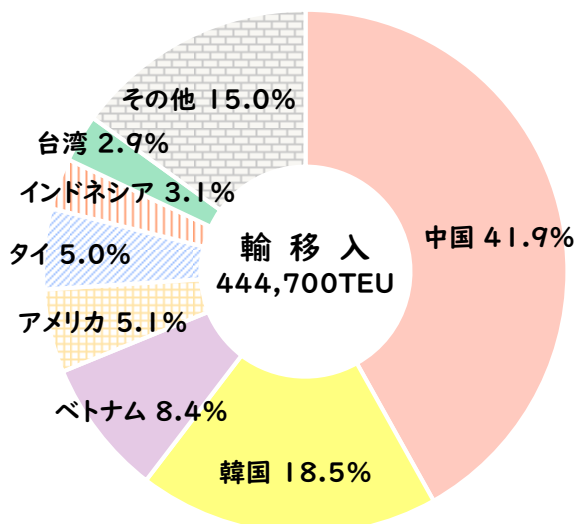
① 相手国別

輸移出入ともに、中国や韓国、台湾などの東アジア地域が全体の約6割を占めている。

【グラフ 1-2】



【グラフ 1-3】



② 主要取扱品種

輸移出では、主に北米や中近東向けを中心とする「完成自動車（中古車）」や「ゴム製品（タイヤ等）」「自動車部品」など、自動車関連産業貨物が上位に挙がる。

輸移入では、主にアジア諸国からの「家具装備品」や「衣服・身廻品・はきもの（衣類関係）」「電気機械」など、生活物資が上位を占めている。

【表 1-2】

(単位: TEU)

輸 移 出					
順位	品 種	取扱個数	主な輸出相手国		
1	完成自動車	※ 46,767	アラブ首長国	中国	タイ
2	ゴム製品	39,323	アメリカ	アラブ首長国	サウジアラビア
3	再利用資材	19,636	ベトナム	台湾	韓国
4	自動車部品	19,329	アラブ首長国	アメリカ	韓国
5	産業機械	16,106	アメリカ	中国	ベトナム
6	染料・塗料・合成樹脂・ その他化学工業品	15,319	中国	韓国	台湾
7	飲料	10,916	韓国	台湾	中国
8	取合せ品	9,066	アメリカ	中国	韓国
9	二輪自動車	9,017	イタリア	オランダ	フランス
10	化学薬品	7,407	中国	韓国	アメリカ

【表 1-3】

(単位: TEU)

輸 移 入					
順位	品 種	取扱個数	主な輸入相手国		
1	家具装備品	48,886	中国	ベトナム	タイ
2	衣服・身廻品・はきもの	32,291	中国	ベトナム	台湾
3	動植物性製造飼肥料	29,736	アメリカ	韓国	オーストラリア
4	電気機械	26,748	中国	タイ	韓国
5	製造食品	25,912	中国	タイ	韓国
6	自動車部品	25,562	ベトナム	中国	韓国
7	染料・塗料・合成樹脂・ その他化学工業品	16,869	中国	韓国	台湾
8	その他日用品	15,685	中国	韓国	インドネシア
9	金属製品	15,434	中国	ベトナム	韓国
10	水産品	13,628	韓国	中国	インドネシア

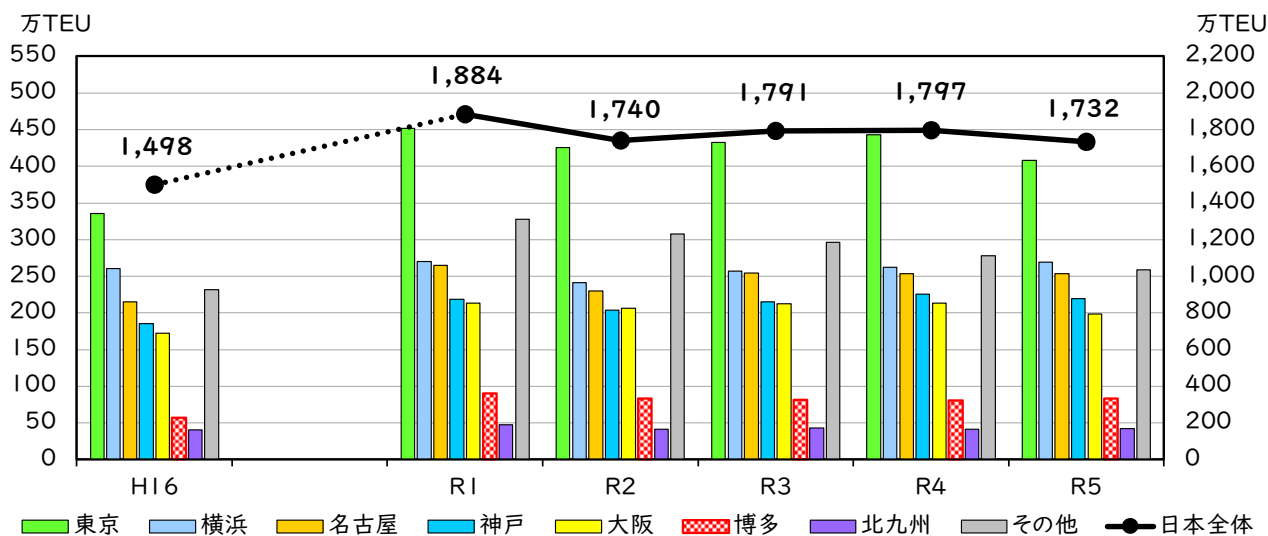
※ 普通・小型乗用車約 94,000 台分に相当

【参考：国内主要港との比較（令和5年）】 国土交通省「港湾統計（年報）」より

① 外貿コンテナ取扱個数の推移と博多港のシェア

国内で輸出入される外貿コンテナの5%弱を博多港で取り扱っている。

【グラフ 1-4】



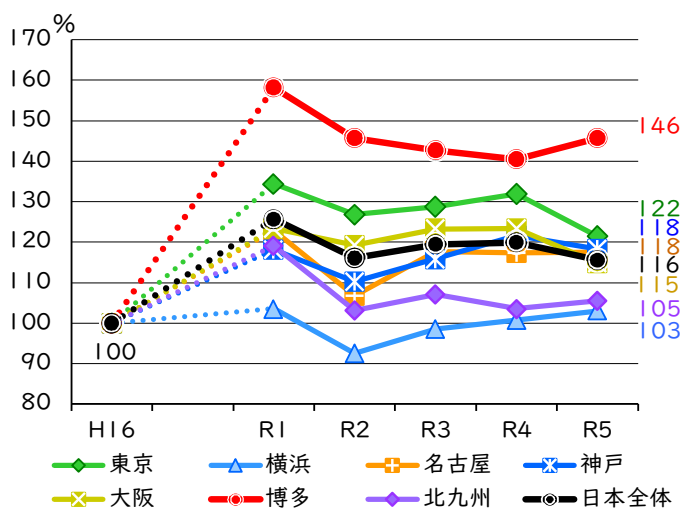
令和5年の港ごとの外貿コンテナ取扱個数は、多い順に、東京、横浜、名古屋、神戸、大阪、博多、北九州となっている。

年	R1	R2	R3	R4	R5
博多港のシェア	4.8%	4.8%	4.5%	4.5%	4.8%

② 国内主要港の外貿コンテナ増加率

博多港の取扱いは、日本全体や国内主要港よりも高い増加率で推移している。

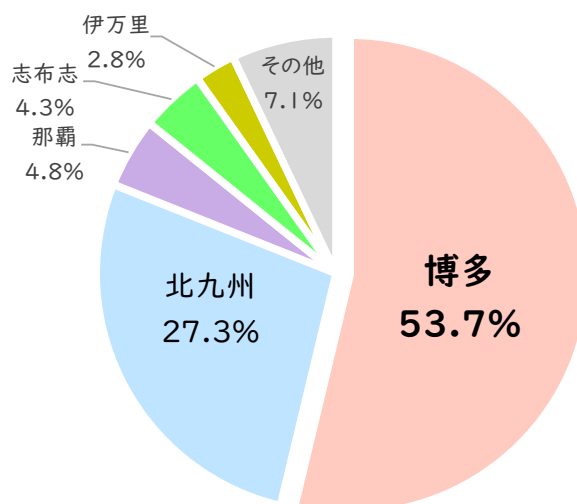
【グラフ 1-5】



③ 九州域内の取扱シェア

九州域内で取り扱われている外貿コンテナ貨物の約5割が、博多港を利用している。

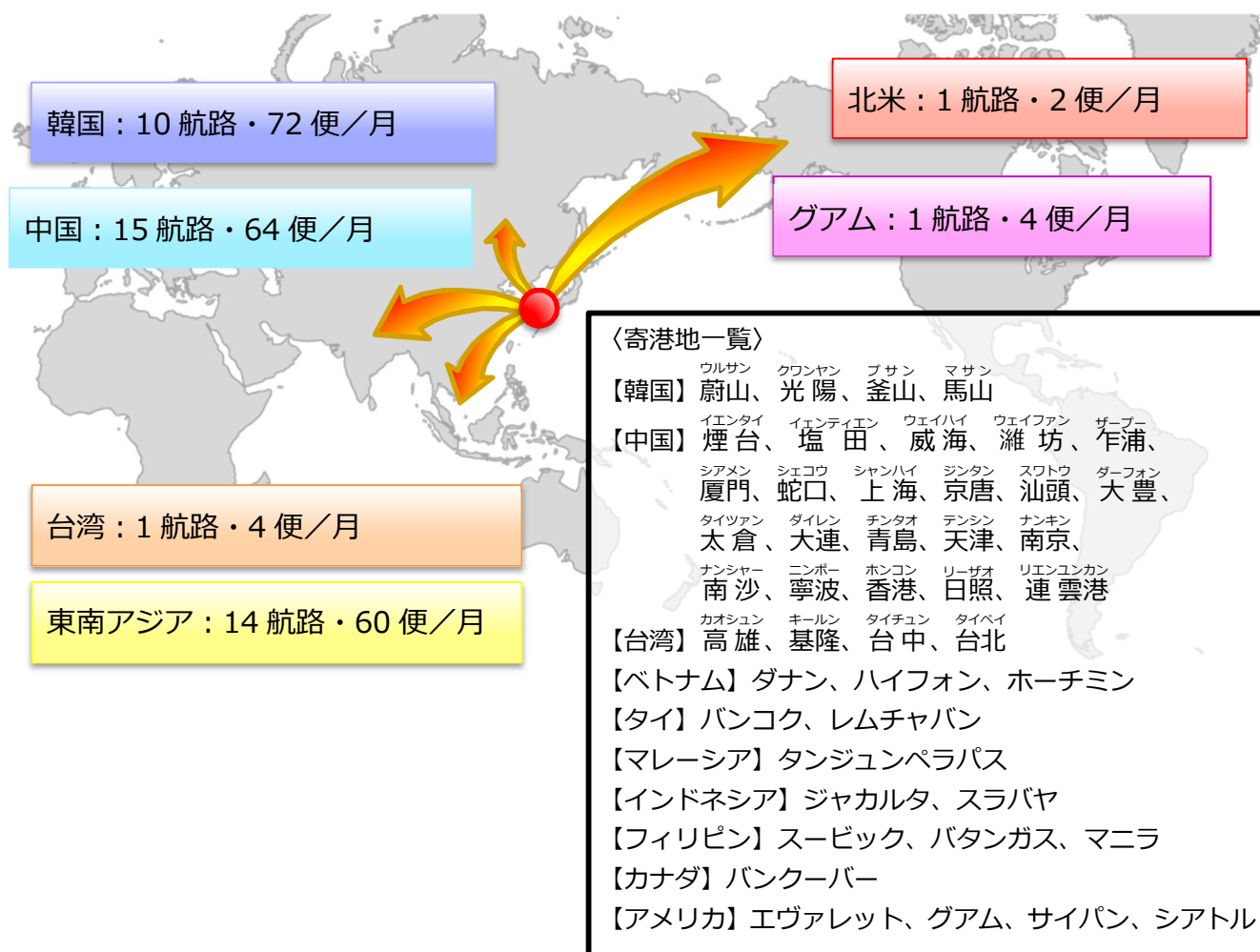
【グラフ 1-6】



2. 国際海上コンテナ定期航路と寄港地

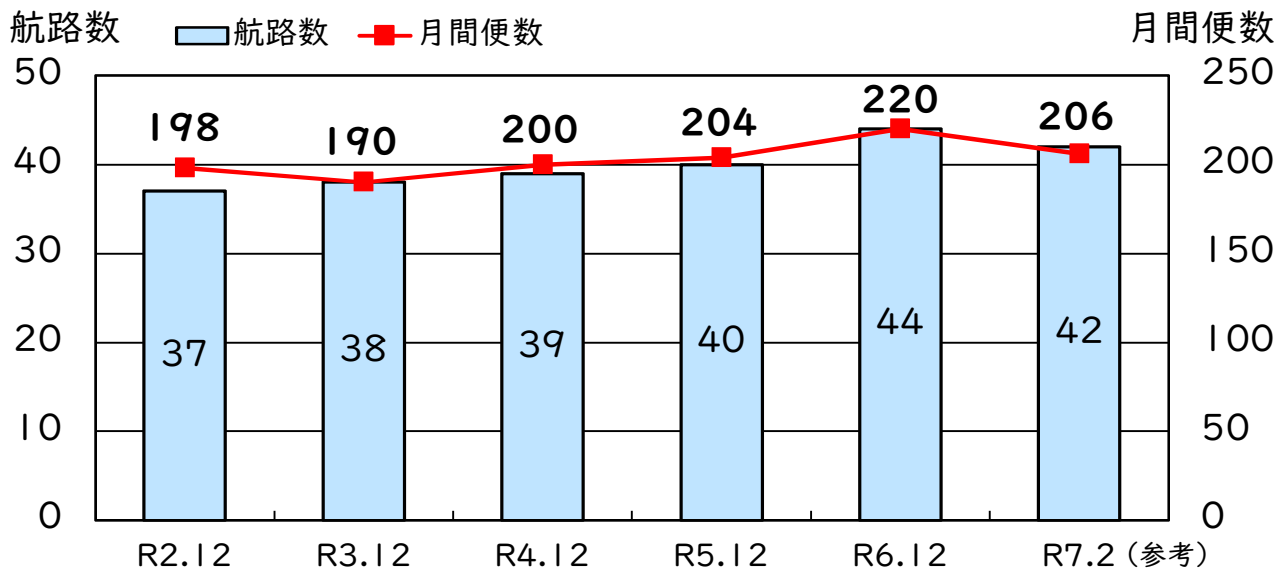
(令和7年2月1日現在)

42 航路・月間 206 便 (10 カ国・地域、45 港とのコンテナ物流網を形成)



■ 国際コンテナ定期航路の航路数・便数の推移

【グラフ 2】



3. 海上出入貨物（トンベース）

【令和6年港湾統計速報値】

貨物量：約 3,212 万トン

外国貿易：約 1,817 万トン、内国貿易：約 1,395 万トン

（1）海上出入貨物量の推移

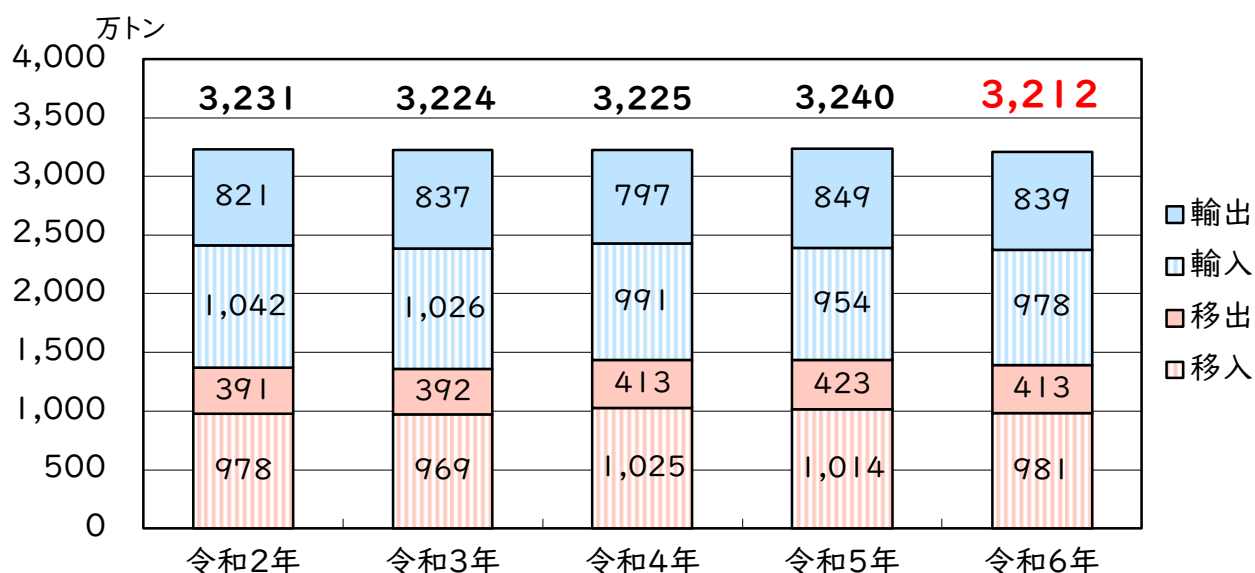
近年は 3,000 万トン台前半で推移しているが、令和6年の海上出入貨物量は、輸移出入ともに前年より減少している。

【表 3-1】

(単位:トン)

区 分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	増減(R6/R5)	
					数量	数量	前年比
博多港全体	32,313,714	32,242,372	32,253,371	32,398,177	32,120,904	▲ 277,273	99.1%
輸移出	12,119,745	12,291,901	12,096,797	12,718,039	12,528,401	▲ 189,638	98.5%
輸移入	20,193,969	19,950,471	20,156,574	19,680,138	19,592,503	▲ 87,635	99.6%
うち外国貿易	18,624,587	18,625,360	17,880,503	18,031,190	18,172,787	141,597	100.8%
輸出	8,205,787	8,368,395	7,970,800	8,489,366	8,394,844	▲ 94,522	98.9%
輸入	10,418,800	10,256,965	9,909,703	9,541,824	9,777,943	236,119	102.5%
うち内国貿易	13,689,127	13,617,012	14,372,868	14,366,987	13,948,117	▲ 418,870	97.1%
移出	3,913,958	3,923,506	4,125,997	4,228,673	4,133,557	▲ 95,116	97.8%
移入	9,775,169	9,693,506	10,246,871	10,138,314	9,814,560	▲ 323,754	96.8%

【グラフ 3-1】



（2）令和6年の貨物量減少の主な要因

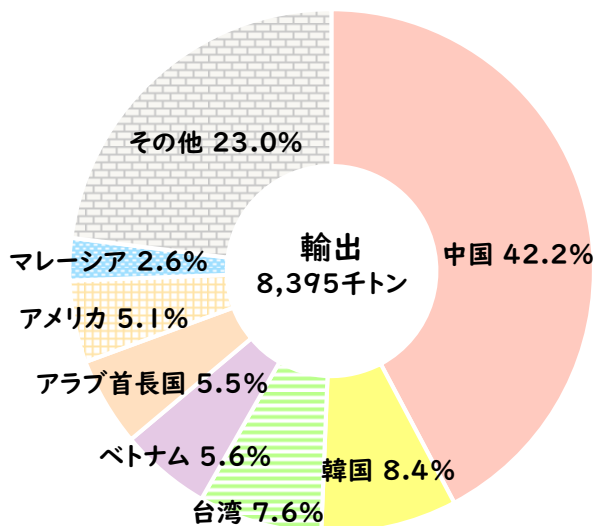
輸移出…ゴム製品（前年比▲18.6 万トン）や取合せ品（同▲17.3 万トン）の減少等
 輸移入…麦（同▲9.2 万トン）や揮発油（同▲8.2 万トン）の減少等

(3) 外国貿易 【18,173千トン】

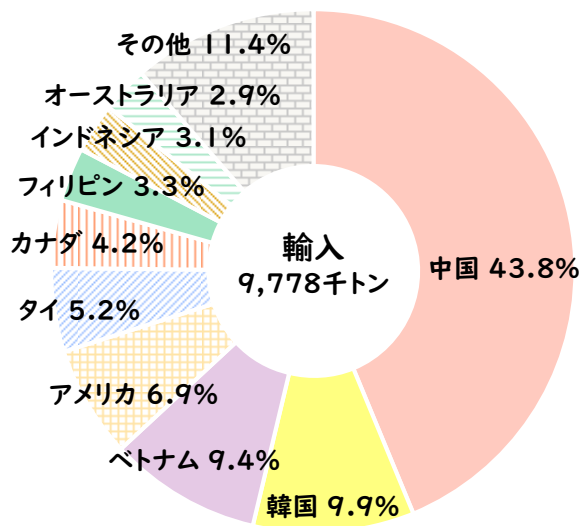
① 相手国別

輸出入ともに、中国や韓国、台湾などの東アジア地域が全体の約 6 割を占めている。

【グラフ 3-2】



【グラフ 3-3】



② 主要取扱品種

輸出では、中国をはじめとするアジアや北米、中近東向けを中心とする「完成自動車」や「ゴム製品（タイヤ等）」「自動車部品」など、自動車関連産業貨物が上位に挙がる。

輸入では、主にアジア諸国からの「家具装備品」や「衣類・身廻品・はきもの（衣類関係）」「電気機械」など、生活物資が上位を占めている。

【表 3-2】

(単位:千トン)

輸 出					
順位	品種	取扱量	主な輸出相手国		
1	完成自動車	※ 4,394	中国	アラブ首長国	韓国
2	ゴム製品	803	アメリカ	アラブ首長国	サウジアラビア
3	産業機械	399	台湾	ベトナム	中国
4	再利用資材	396	ベトナム	台湾	韓国
5	自動車部品	310	アラブ首長国	マレーシア	アメリカ
6	染料・塗料・合成樹脂・ その他化学工業品	266	台湾	韓国	ベトナム
7	飲料	239	韓国	台湾	中国
8	金属くず	204	ベトナム	韓国	タイ
9	二輪自動車	196	イタリア	フランス	スペイン
10	化学薬品	147	中国	韓国	台湾

【表 3-3】

(単位:千トン)

輸 入					
順位	品種	取扱量	主な輸入相手国		
1	家具装備品	1,341	中国	ベトナム	タイ
2	衣服・身廻品・はきもの	745	中国	ベトナム	台湾
3	電気機械	608	中国	タイ	ベトナム
4	動植物性製造飼肥料	551	韓国	アメリカ	オーストラリア
5	野菜・果物	543	フィリピン	中国	韓国
6	自動車部品	527	ベトナム	中国	タイ
7	製造食品	487	中国	タイ	韓国
8	麦	487	カナダ	アメリカ	オーストラリア
9	その他日用品	401	中国	インドネシア	ベトナム
10	とうもろこし	323	アメリカ	ブラジル	カナダ

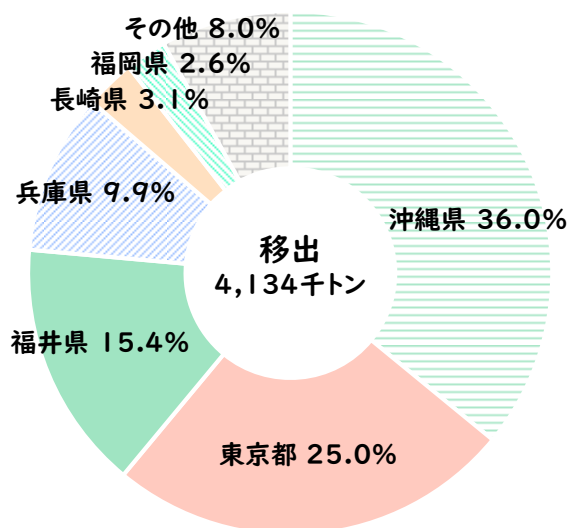
※ 普通・小型乗用車約 439,000 台分に相当

(4) 内国貿易 【13,948 千トン】

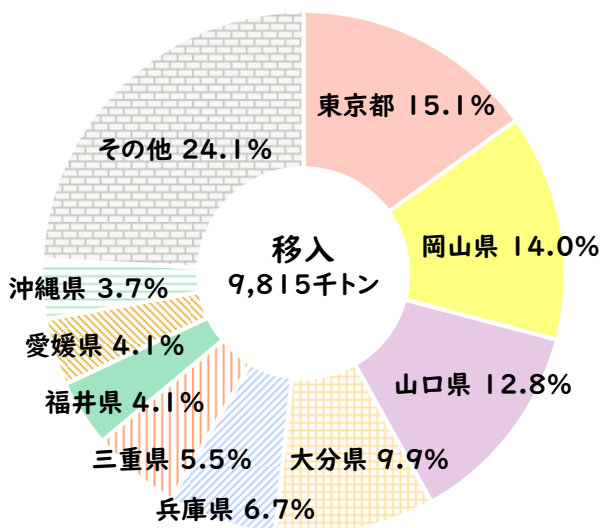
① 相手都道府県別

移出においては、定期航路を有する沖縄県や東京都との取引が多く、また、移入においては、定期航路を有する東京都のほか、岡山県、山口県など石油製品を取扱う港との取引が多い状況となっている。

【グラフ 3-4】



【グラフ 3-5】



② 主要取扱品種

移出では、「取合せ品（小口混載貨物等）」や「完成自動車」など、取扱品種が多岐に渡っており、主に、定期航路を有する沖縄県や東京都に移出されている。

移入では、「その他の石油（軽油、航空燃料油など）」や「揮発油（ガソリンなど）」などの燃料系貨物、「砂利・砂」や「セメント」「鋼材」などの建築資材、「完成自動車」が上位を占めている。

【表 3-4】

(単位: 千トン)

移 出					
順位	品種	取扱量	主な移出相手都道府県		
1	その他輸送機械	744	福井県	東京都	兵庫県
2	取合せ品	699	沖縄県	東京都	兵庫県
3	完成自動車	※1 571	東京都	沖縄県	福井県
4	製造食品	227	沖縄県	兵庫県	長崎県
5	飲料	189	沖縄県	長崎県	兵庫県
6	その他日用品	173	沖縄県	長崎県	兵庫県
7	鋼材	162	沖縄県	福井県	兵庫県
8	とうもろこし	142	福岡県	鹿児島県	広島県
9	水	133	海上採取	長崎県	東京都
10	麦	126	香川県	神奈川県	千葉県

※1 普通・小型乗用車約 57,000 台分に相当

【表 3-5】

(単位: 千トン)

移 入					
順位	品種	取扱量	主な移入相手都道府県		
1	その他の石油	1,833	岡山県	大分県	山口県
2	砂利・砂	1,630	海上採取	長崎県	大分県
3	揮発油	1,530	岡山県	山口県	大分県
4	完成自動車	※1 1,322	東京都	三重県	沖縄県
5	セメント	475	山口県	福岡県	福井県
6	取合せ品	365	東京都	沖縄県	福井県
7	鋼材	342	岡山県	大阪府	兵庫県
8	動植物性製造飼料	280	兵庫県	福井県	岡山県
9	米	184	東京都	福井県	兵庫県
10	製造食品	182	福井県	兵庫県	東京都

※2 普通・小型乗用車約 132,000 台分に相当

博多港のコンテナ物流について

<令和 6 年の国際海上コンテナ貨物動向>

【令和 6 年港湾統計速報値】

◆国際海上コンテナ取扱個数

(単位：TEU)

区分	令和 5 年	令和 6 年	増減数	増減率
博多港全体	905,678	877,382	▲28,296	▲3.1%
実入り	649,184	637,962	▲11,222	▲1.7%
空	256,494	239,420	▲17,074	▲6.7%
輸移出	453,563	432,682	▲20,881	▲4.6%
実入り	257,727	244,048	▲13,679	▲5.3%
空	195,836	188,634	▲7,202	▲3.7%
輸移入	452,115	444,700	▲7,415	▲1.6%
実入り	391,457	393,914	+2,457	+0.6%
空	60,658	50,786	▲9,872	▲16.3%

◆博多港の集荷対策について

■目指すべき姿

活力と存在感に満ちた「日本の対アジア拠点港」

※平成 28 年 3 月改訂 博多港港湾計画



成長著しいアジアに近い**地理的優位性**



陸・海・空の輸送モードが集積する**交通利便性**

■取組みの方向性

博多港の強みを活かし、博多港における国際海上コンテナ取扱量のシェアが高い「東アジア」の貨物や、近年、増加が顕著な「東南アジア」の貨物を中心に集荷活動に取り組む。アジアの貨物については、九州内の港で輸出入されている貨物だけでなく、更なる集荷のため、九州からの流出貨物や、九州域外の貨物についても対象を広げ、積極的に集荷活動に取り組む。

第2章 博多港の人流

1. 船舶乗降人員

【令和6年港湾統計速報値】

乗降人員：約 211 万 4 千人

外国航路：約 120 万 1 千人、内国航路：約 91 万 3 千人

(1) 船舶乗降人員の推移

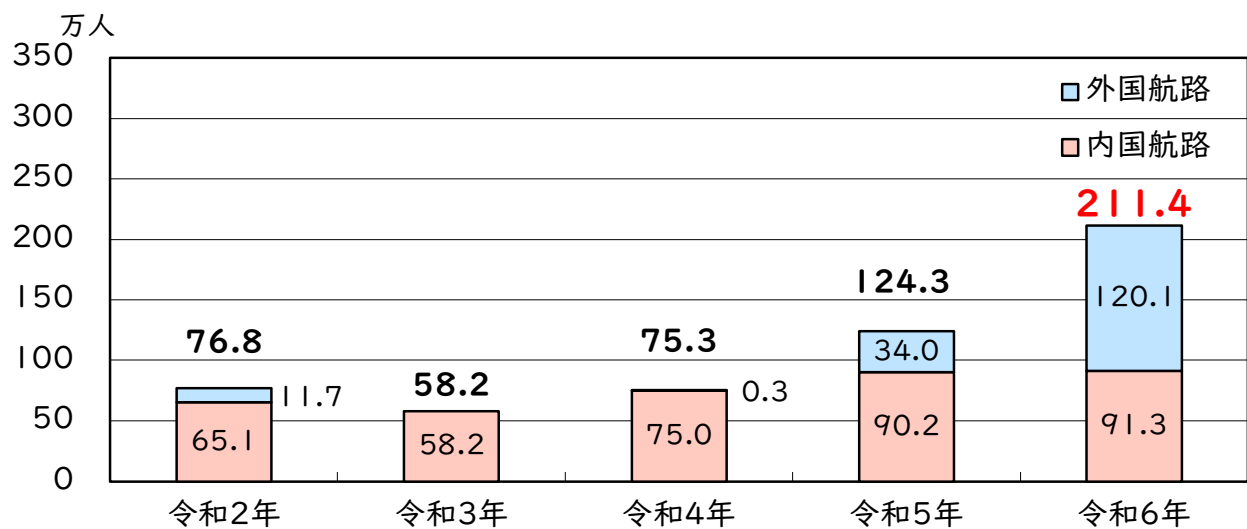
令和6年の乗降人員数は外国航路・内国航路ともに増加している。

【表 1】

(単位：人)

区 分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	増減(R6/R5)	
					人数	人数	前年比
博多港全体	767,927	581,889	753,004	1,242,516	2,114,088	871,572	170.1%
うち外国航路	116,901	0	3,465	340,171	1,200,887	860,716	353.0%
うち内国航路	651,026	581,889	749,539	902,345	913,201	10,856	101.2%

【グラフ 1】



2. うち外国航路船舶乗降人員

【令和6年港湾統計速報値】

乗降人員：約 120 万 1 千人

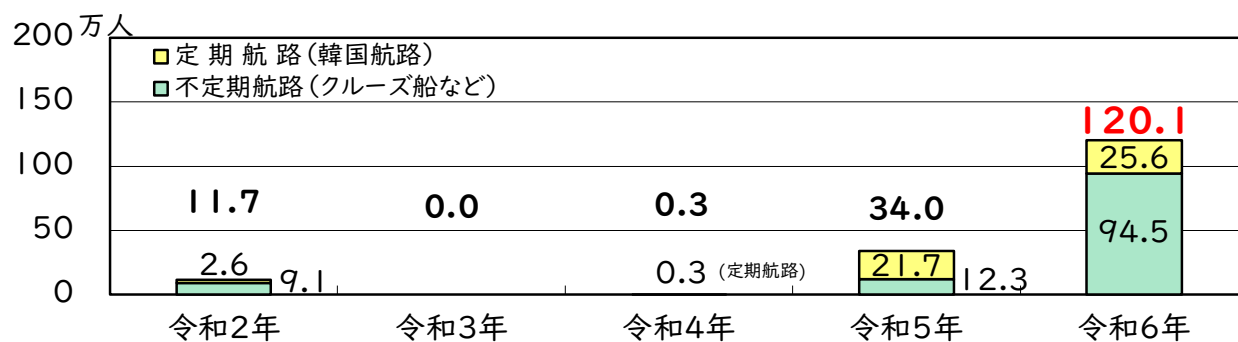
定期航路（韓国航路）：約 25 万 6 千人、不定期航路（クルーズ船など）：約 94 万 5 千人

（1）外国航路船舶乗降人員の推移

定期航路については、令和4年11月の再開以降、順調に推移していたものの、一部運休の影響が見られる。

不定期航路（クルーズ船）については、国際クルーズの回復により増加している。

【グラフ 2】



3. クルーズ船の寄港回数

【令和6年港湾統計速報値】

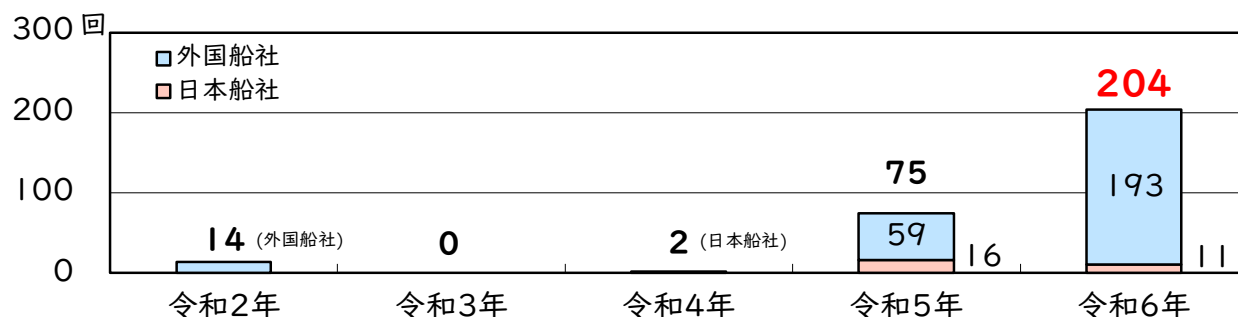
寄港回数：204回

外国船社：193回、日本船社：11回

（1）クルーズ船の寄港回数の推移

国際クルーズの回復により増加している。

【グラフ 3】



第3章 博多港の入港船舶

1. 入港隻数及び総トン数

【令和6年港湾統計速報値】

入港隻数：24,484隻

総トン数：約7,350万総トン

外国航路：3,048隻・約5,381万総トン、内国航路：21,436隻・約1,969万総トン

(1) 入港隻数及び総トン数の推移

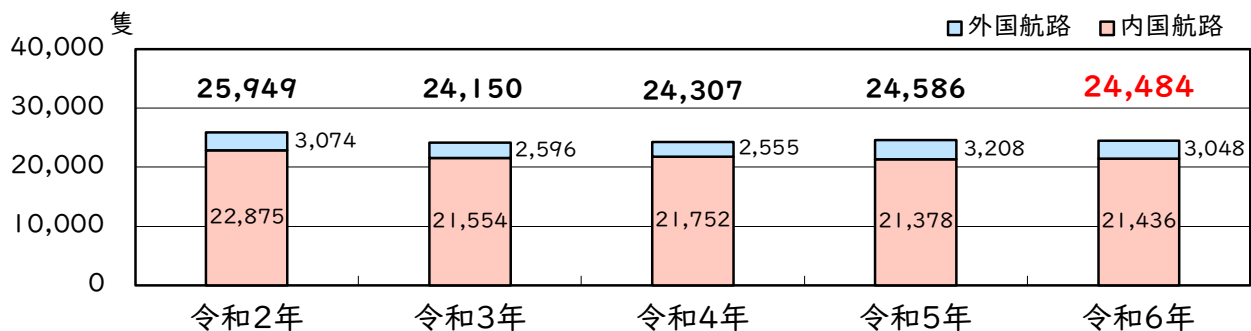
入港隻数は近年2万5千隻前後で推移しているが、総トン数は大型クルーズ船の寄港増加により増加している。

【表1】

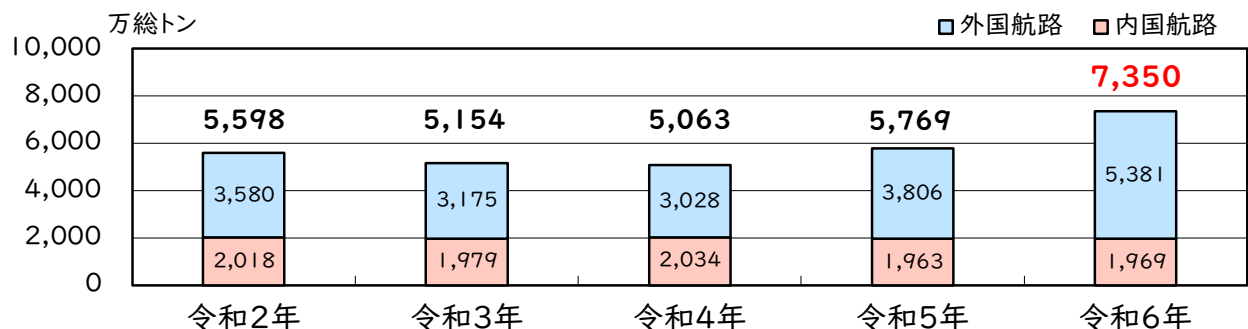
(単位：隻、総トン)

区 分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	増減(R6/R5)	
					数量	数量	前年比
入港隻数	25,949	24,150	24,307	24,586	24,484	▲102	99.6%
うち外国航路	3,074	2,596	2,555	3,208	3,048	▲160	95.0%
うち内国航路	22,875	21,554	21,752	21,378	21,436	58	100.3%
総トン数	55,983,314	51,540,787	50,627,385	57,693,783	73,504,561	15,810,778	127.4%
うち外国航路	35,802,548	31,750,203	30,284,868	38,059,362	53,812,572	15,753,210	141.4%
うち内国航路	20,180,766	19,790,584	20,342,517	19,634,421	19,691,989	57,568	100.3%

【グラフ 1-1 入港隻数】

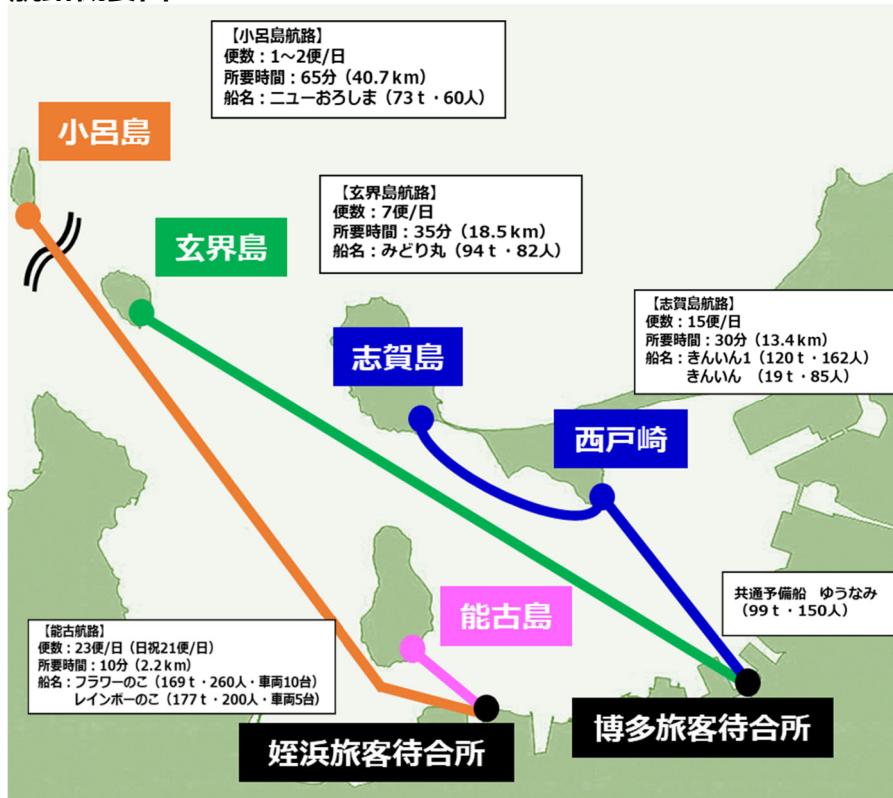


【グラフ 1-2 総トン数】



市営渡船の経営状況

1. 航路概要図



主な使用船舶



2. 航路別収支

（単位：千円）

区分		令和7年度 当初予算（案）				
		志賀島	能古	玄界島	小呂島	合計
歳入	運賃収入等	87,377	279,937	55,405	24,155	446,874
	国・県補助金	0	0	113,617	67,971	181,588
	計	87,377	279,937	169,022	92,126	628,462
歳出	運航経費	452,801	510,398	348,964	181,008	1,493,171
運航収支		▲ 365,424	▲ 230,461	▲ 179,942	▲ 88,882	▲ 864,709
歳入	市債収入	3,000	158,000	29,000	3,000	193,000
歳出	市債関連支出	3,766	158,715	29,800	3,703	195,984
	公債費（市債償還分）等	30,014	44,626	49,947	3,720	128,307
	計	33,780	203,341	79,747	7,423	324,291
繰入金		396,204	275,802	230,689	93,305	996,000

3. 渡船の利用状況の推移

（単位：人）

区分	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
乗客人員	志賀島航路	184,002	186,931	107,738	118,422	149,569
	能古航路	836,751	838,255	586,078	601,453	657,822
	玄界島航路	74,542	71,083	53,227	52,112	60,396
	小呂島航路	9,661	9,376	7,691	7,277	8,159
	合計	1,104,956	1,105,645	754,734	779,264	875,946
	対前年度比	106.6%	100.1%	68.3%	103.3%	112.4%

第4章 福岡空港の概況

1. 乗降客数

【令和5年度確定値】

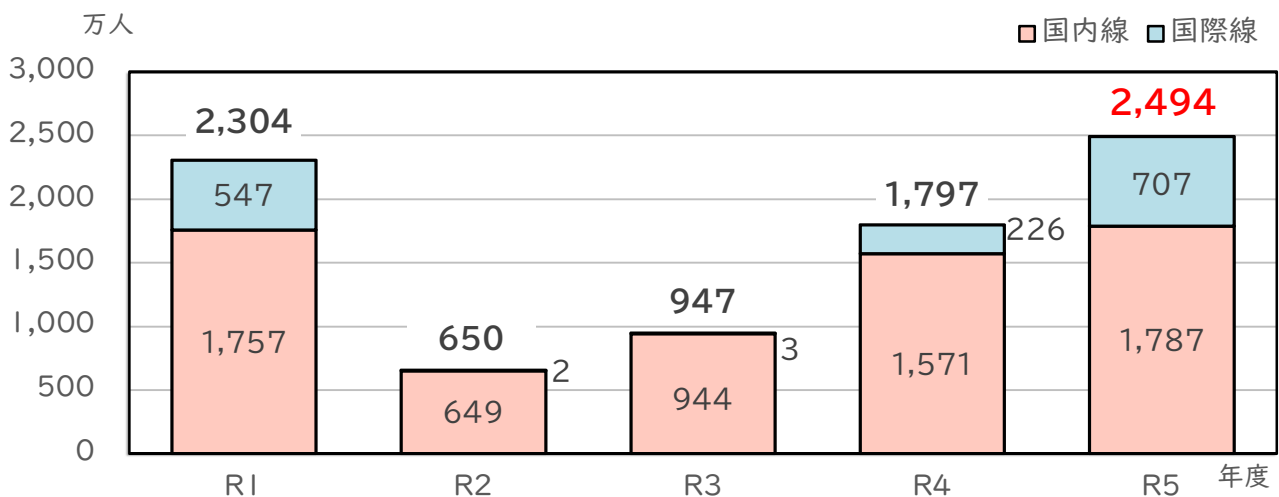
乗降客数：約 2,494 万人

国際線：約 707 万人 国内線：約 1,787 万人

（1）乗降客数の推移 国土交通省「空港管理状況調査」より

乗降客数は過去最高を更新した。

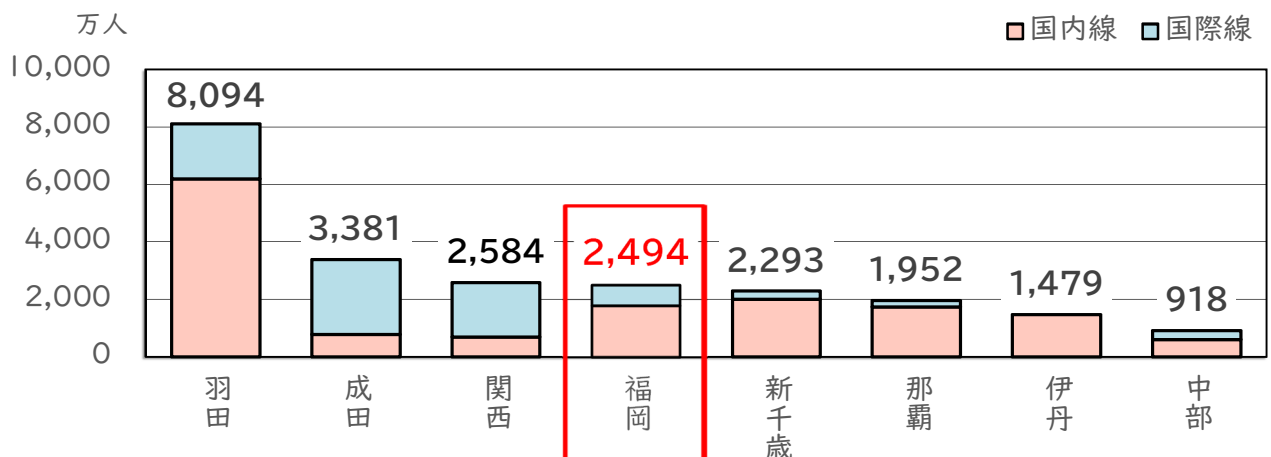
【グラフ 1-1】



【参考：国内主要空港との比較（令和5年度）】 国土交通省「空港管理状況調査」より

福岡空港の乗降客数は国内第4位である。

【グラフ 1-2】



2. 貨物取扱量

【令和5年度確定値】

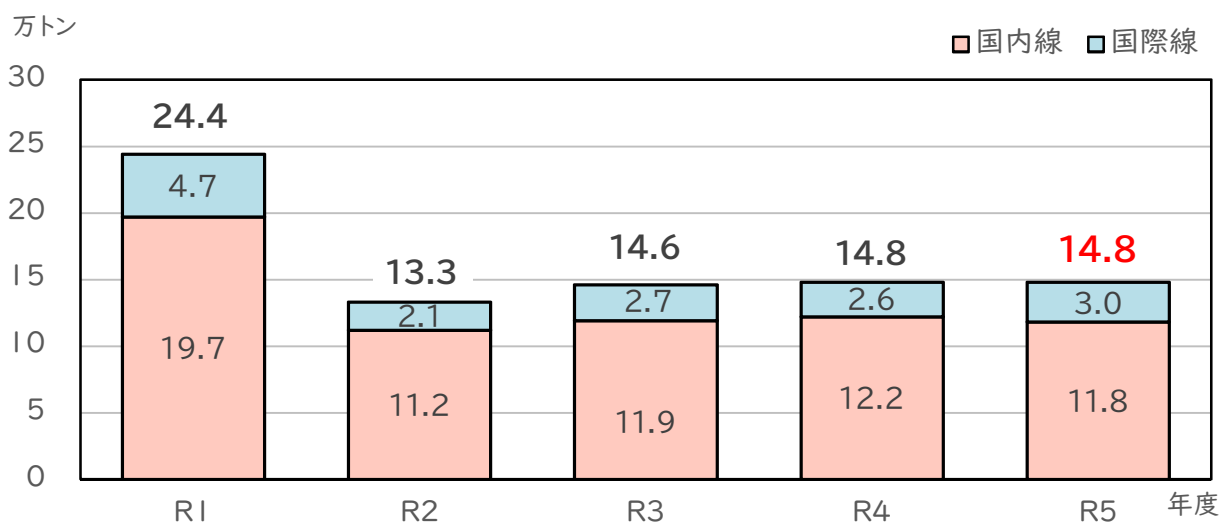
貨物取扱量：約 14 万 8 千トン

国際線：約 3 万トン 国内線：約 11 万 8 千トン

（1）貨物取扱量の推移 国土交通省「空港管理状況調書」より

国際線・国内線ともに前年度と同程度となっている。

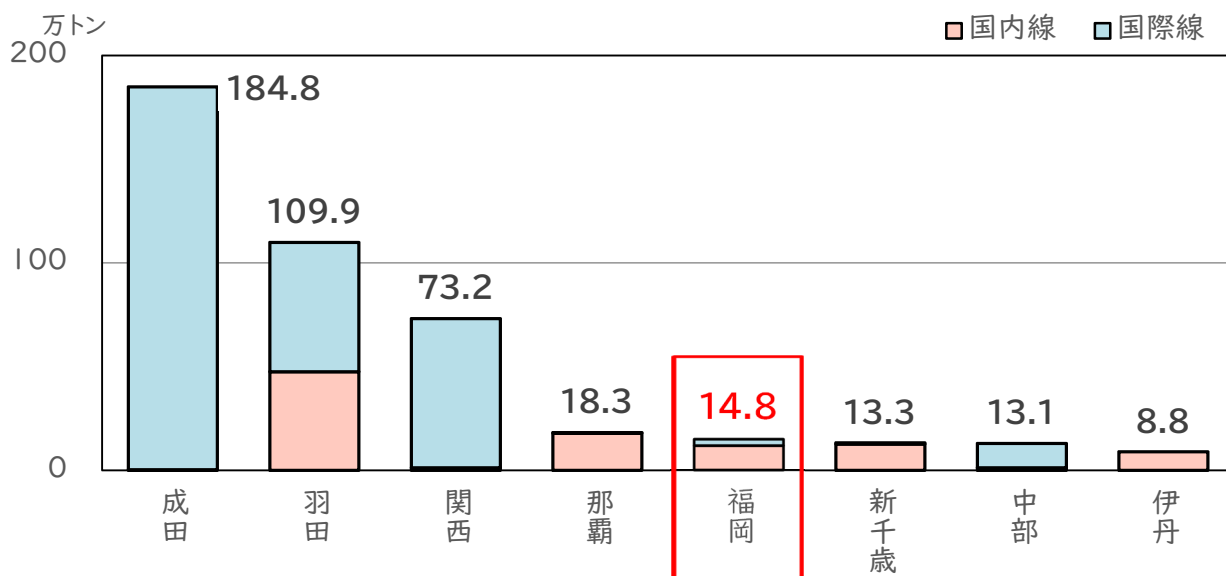
【グラフ 2-1】



【参考：国内主要空港との比較（令和5年度）】 国土交通省「空港管理状況調書」より

福岡空港の貨物取扱量は国内第5位である。

【グラフ 2-2】



3. 発着回数

【令和5年度確定値】

発着回数：約18万5千回

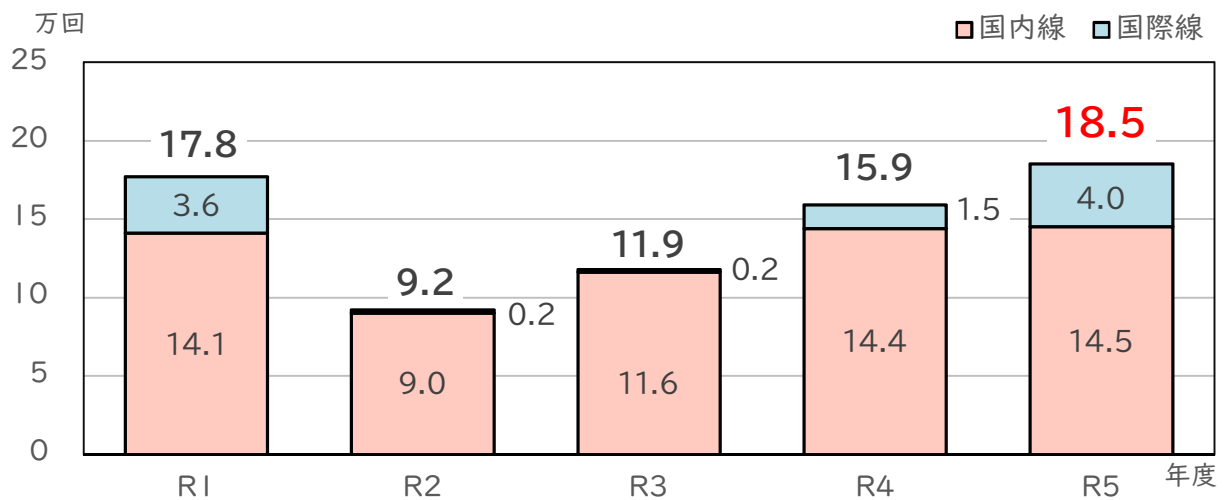
国際線：約4万回

国内線：約14万5千回

（1）発着回数の推移 国土交通省「空港管理状況調書」より

発着回数は過去最高を更新した。

【グラフ3-1】

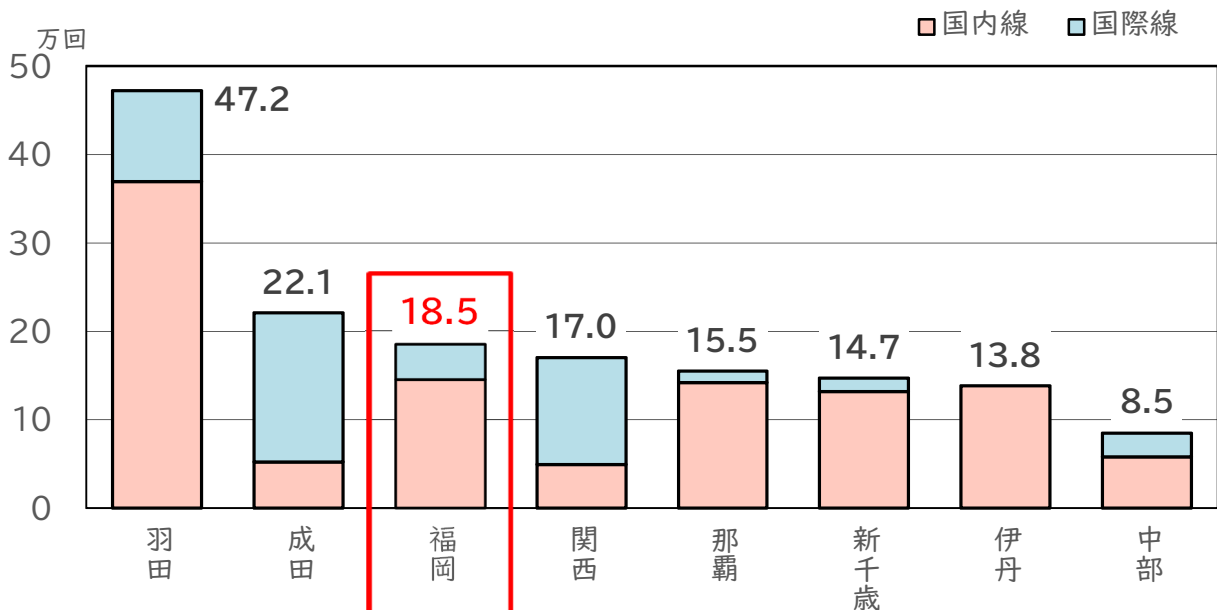


【参考：国内主要空港との比較（令和5年度）】

国土交通省「空港管理状況調書」より

福岡空港の発着回数は国内第3位である。

【グラフ3-2】



4. 路線状況

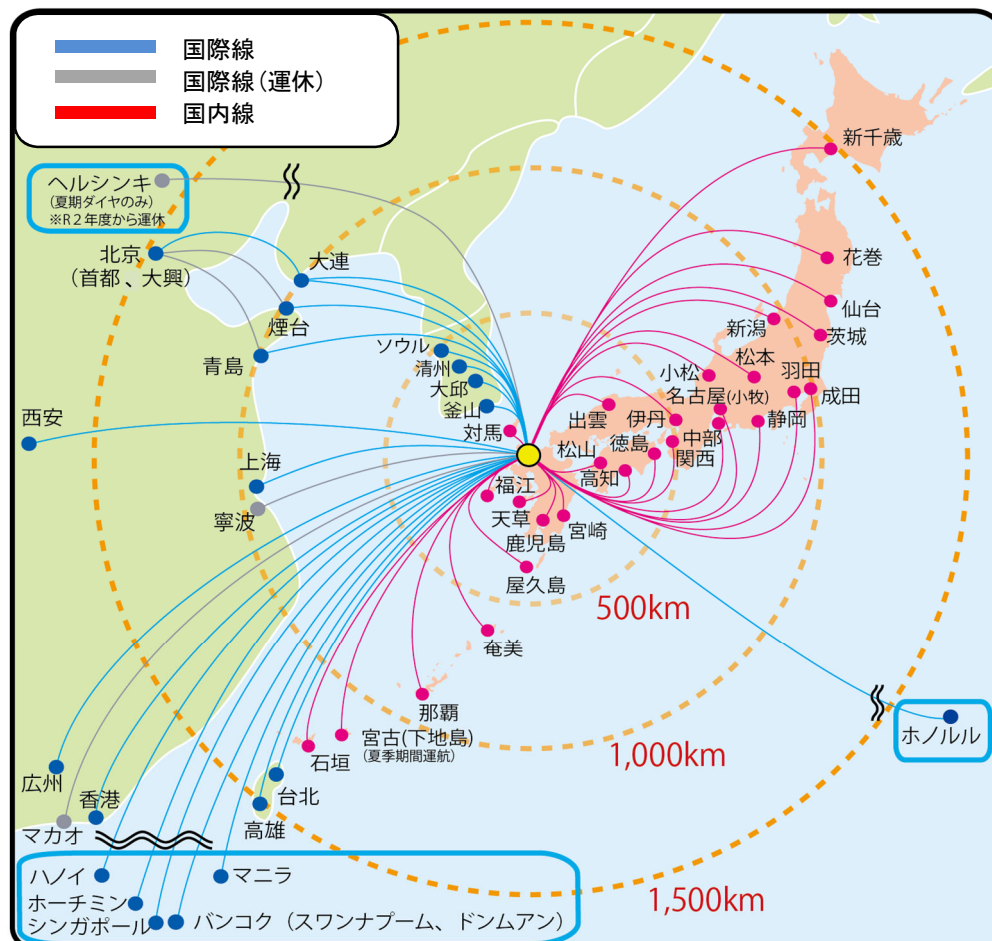
令和7年2月現在で、路線数は国際線が23路線、国内線が27路線となっている。
また、発着便数は国際線が週864便、国内線が1日380便となっている。

福岡空港の時刻表（2月）を基に福岡市港湾空港局集計

区分	路線数	発着便数	乗入航空会社数	行 先
国際線	23 ※運休含む	864 (便/週)	29	プサン デグ チョンジュ シャンハイ ベキン ダイレン ソウル、釜山、大邱、清州、上海、北京、大連、 チンタオ イエンタイ ニンボー コウシュウ セイアン ホンコン 青島、煙台、寧波、広州、西安、香港、 タイペイ カオシュン マカオ、台北、高雄、マニラ、バンコク、 ハノイ、ホーチミン、シンガポール、ホノルル ※下線部は時刻表上「運休」 計22都市（8カ国・地域）
国内線	27	380 (便/日)	13	羽田、成田、新千歳、花巻、仙台、新潟、 小松、松本、茨城、静岡、中部、名古屋(小牧)、 関西、伊丹、出雲、松山、徳島、高知、 対馬、福江、天草、宮崎、鹿児島、屋久島、 奄美、那覇、石垣 計27空港

※乗入航空会社については、コードシェアのみの会社を除く。

福岡空港路線図



福岡空港の機能強化



航空機混雑を解消するとともに、将来の航空需要に適切に対応するため、滑走路増設事業を実施(令和7年3月20日供用開始予定)

福岡市・福岡国際空港(株)協議会の開催実績（令和 6 年 8 月以降）

福岡市は、運営会社との間で、相互の協力と密接かつ持続的な連携により福岡空港及び地域の活性化を図ることを目的として、パートナーシップ協定を締結し、市独自の協議の場(福岡市・福岡国際空港(株)協議会)を設置

開催日・出席者	主 な 協 議 内 容
令和 6 年 8 月 5 日（協議会） 【福岡市】 市長、副市長、 港湾空港局長、理事 他 【運営会社】 社長、副社長、 経営企画本部長 他	・運営会社から、中期事業計画及び運営状況や今後の経営の見通し等について説明を受けた。 - 市から、空港運営は地域の協力と理解で成り立っていることを改めて伝え、増設滑走路の供用後も安全・安心な空港運営への取組みの徹底を申し入れた。 - あわせて、高付加価値旅行者の受入環境整備について両者で連携しながら取り組んで行くことを確認した。 ・運営会社から、令和 7 年 3 月の国際線旅客ターミナルビル増築部供用に合わせ、国際線の旅客取扱施設利用料（PSFC）を改定したいとの意向が本年 1 月に示されたことを受け、同年 3 月及び 5 月に「福岡市・福岡国際空港株式会社協議会 幹事会」を開催し、市から過度な利用者負担にならないことなどを要請していた。 - 本日の協議会での運営会社からの説明で、国際線旅客ターミナル増改築工事により、旅客の利便性が格段に向上すること、改定予定額が国内主要空港と同程度になっていること、運営会社が今後も福岡空港の更なる利便性向上と地域共生に取り組むことを確認した。

開催日・出席者	主 な 協 議 内 容
令和6年10月31日（幹事会） 【福岡市】 港湾空港局長、理事、 空港振興部長 他 【運営会社】 副社長、経営企画部長 他	- 福岡空港からの市内要所との直行バスの運行状況について、運営会社は、アクセス利便性向上に向け、バス事業者に適宜要望を行っている。また、バス事業者としては、運転手不足で生活路線の維持を優先せざるを得ない状況にあっても、交通拠点である博多駅との直行バスや、利便性向上のための“国内・国際線連絡バス”への接続バスの導入など、出来る限りの対応をしているとのことであった。 - 運営会社から、2024年度第2四半期決算について報告があり、旅客数の増加等により、営業収益、営業利益は過去最高となり、純利益は初の黒字となったとの説明があった。 市から、今度の3月末には増設滑走路の供用も完了するが、今後も安全・安心で地域に寄り添った空港運営について要請し、運営会社からも、しっかり努めていくとの発言があった。 - 運営会社から、国際線 PSFC 改定に併せたキャンペーンとして福岡県民を対象に、出国する旅客について、福岡空港の施設内で利用できるクーポン等の配布について検討を行っているとの発言があった。 また、地域共生策についても、来年度の空港環境整備助成事業に係る市への助成額を増額するほか、引き続きまちづくりにも取り組んでいくとの発言があった。